

# 原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2009年1月6日 No. 1

## 核兵器のない世界へ—新春行動各地で

“核兵器のない世界”の願い署名に 日本原水協が新年最初の6・9行動 - **東京**



2010年核不拡散条約(NPT)再検討会議にむけて圧倒的な国民世論を集めるため、日本原水協と東京原水協、上野の森に広島・長崎の火を永遠に灯す会などは1月6日、家族連れや観光客で賑わう上野公園で2009年最初の「6・9」行動を行いました。

「原爆と人間」展パネルを並べ、今年の干支である牛やレッサパンダの着ぐるみ、晴れ着姿などで「核兵器のない世界を」署名をよびかけると、家族連れや若者たちが次々足を止めて署名に応じました。

「核兵器の被害をいちばんわかっているのは日本。絶対なくしてほしい」、「戦争を知らない世代だが、世界から核兵器がなくなるように願っている」、「世界中で起こっている戦争は、日常生活とは遠いところにあるが、いつも心に留めておかなければ」など語りながら署名する家族連れや、「戦争はもういい、核兵器は辛すぎる」と話しながら署名する若者、肩を組んだまま署名していた10代のカップルは「核兵器のない世界になってほしい」と話していました。アメリカ・ミネソタ州ミネアポリスから来たという女性は、「オバマ氏が核兵器廃絶を公約していたことは知らなかった。ぜひやるべき」と話しながら署名してくれました。

行動には、25人が参加し、署名85筆、募金4200円集まりました。

平和公園で恒例の新春署名行動 - **長崎**

元旦までの寒波が嘘のような2日。長崎原水協は恒例の新春署名行動を平和公園で行いました。民医連の菅先生をはじめ、民医連、市従組、新婦人などから10人余が参加。多くの観光客が署名してくれました。



中高生からお年寄りまで幅広く署名 - **高知**

高知県原水協は1月6日昼、高知市内の商店街で今年初めての新春6・9行動を行い7人が参加しました。「核兵器のない世界を」署名の呼びかけには、中高生からお年寄りまで幅広く署名に応じてくれ、1時間で112筆が集まりました。「募金だけでもします。」と募金箱にお金を入れて行かれる方もおり、1221円の募金が寄せられました。

4神社で新春元旦行動 - **静岡**

静岡では静岡市・浅間神社、浜松市・五社神社、御殿場市・浅間神社、三島市・三島大社の4ヶ所で新春元旦行動を行い、参加者計35人が「核兵器のない世界を」署名、被爆者連帯募金に取り組み、署名150筆、5万8561円の募金を集めました。静岡県・市原水協は1月6日、市内で6・9行動を7人で行い、1時間で署名81筆、募金1001円(うち500円はフランス人男性)が寄せられました。

## 原爆症認定集団訴訟の原告被爆者も元気に参加 - 愛知



元旦の日午後、熱田神宮東門前において寒風が吹く中、恒例の宣伝行動を行いました。寒さが厳しい中でしたが、原爆症認定集団訴訟原告被爆者の甲斐昭さんが数ヶ月ぶりに元気に参加（昨年6月に東京行動に参加する途中で倒れる。その後9月に心臓手術を行う）。同原告の中村昭子さんも親子で参加されました。署名には若者の反応がよく次々と応じてくれました。

沢田昭二県理事長は、「2010年に行われる、NPT（核不拡散条約）再検討会議にむけて集めている新しい国際署名にご協力ください」、甲斐昭さんは「すべての原告が認定されるまでがんばる」、新婦人の水野磯子代表委員、愛労連の福田秀俊副議長、掘一県代表委員らが次々と新年のご挨拶と決意を披露されました。この行動には、被爆者4人を含め21人が参加され、新国際署名67筆と原爆症認定基準改定署名55筆が参加者から寄せられ、県原水協として、2009年行動のスタートを切りました。

## 麻生久美子さんの顔写真に高校生が反応 - 岡山

岡山県・市原水協は共同で1月6日、昼休みの時間を利用して1月度の6・9行動を岡山駅前で行いました。この行動には自治労連県本部の4人をはじめ13人が参加し、38筆の署名と1000円の募金が寄せられました。

顔写真の入ったポスターに麻生久美子(女優)さんを見つけた高校生は「この人がほんまに署名したん？だったらばくもする」と署名するなどこの日の署名には多くの若い人が応じてくれたのが特徴でした。



## 09 善光寺新春行動 不況の中だからこそ平和への願い強く！ - 長野



長野県原水協・市原水協は1月3日、午前9時から10時まで、善光寺仁王門前で、「核兵器のない世界を」署名で初詣の善男善女に、11人で呼びかけました。「核兵器廃絶の署名にご協力下さい」「来年の5月にニューヨークに持っていきまーす」「ノーベル賞の益川教授、女優の吉永小百合さんなども署名しています」と声をかけると、次々と足を止めてサインする人が目立ち、1時間で署名308筆が寄せられました。

また、不況の中にもかかわらず、千円札3枚を含む4650円もの募金が寄せられたことは初めてでした。なかには署名し終わってから駆け寄って募金を差し出しにきたり、チラシを見て署名にむかう人が数多くいたり、「核兵器なんていらないよね」と声を掛けながらサインする人、顔ポスターをわざわざ見に移動する人など、参加者は元気をもらいました。行動終了後の感想交流もいい雰囲気、終わってからも参加者はしばらく去りがたいようでした。

## 武田神社で署名行動 - 山梨

山梨県原水協は1月2日、武田神社で署名宣伝行動を行いました。参加した5人が初詣客に訴えると、短時間で県外もふくめ66人から署名が寄せられました。